

東京都私立初等学校協会

一斉研修会「学校劇部会」レポート

東京女学館小学校 西脇正治

令和六年二月八日（木）、東京都私立初等学校協会の一斉研修会が開催され、学校劇部会は「みんなで劇を楽しもう⑦～演劇鑑賞教室のススメ」のテーマで、オペレッタ劇団ともしびによる『おもしろどんどん』を雙葉小学校の三年生と観劇。その後感想交流会を行った。

ピアノ担当のフウちゃんが、まずは手遊びなどで子どもたちの雰囲気をはぐしたが、そこから雙葉の三年生はのりのり。圧巻は役者のシュウちゃんとフウちゃんが難易度高めの手遊び「三月三日のお餅つき」を見せた時。会場の三年生から自然に歌と手遊びが全員から一体となって沸き起こった。お聞きしたら、音楽の時間にやった昔遊びとほぼ一緒だったらしい。

クイズで舞台に次々にスイカが登場。いよいよ物語の世界に。スイカづくりの名人の権兵衛お婆さんが丹精込めて作ったスイカを、日本で一番エライ泥棒が夜中に一個盗んでいく。お婆さんは案山子を立てて泥棒を防ごうとするが、案山子を引っこ抜いて盗んでいってしまう。案山子を倒す泥棒に、会場の子どもたちは「可哀そう」などと口々に反応する、素直で可愛らしく、優しい反応の雙葉の三年生。権兵衛お婆さんが「いい知恵はないかね？」と語りかけると、次々に子どもたちがアイデアを出す。「防犯カメラを設置する」「貴方（お婆さん）が寝ている」「美味しいスイカだけ売りに行って、まだ熟れていない不味そうなスイカだけ置いておく」などなど。子どもらしくも賢い案がたくさん出る。

案山子に化けたお婆さんが、泥棒が現れるのを待っているが、夜になりついウトウト寝てしまいそうに。すると「寝ちゃダメー」など子どもたちから応援の声が飛ぶ。泥棒が籠に入れたスイカをお婆さんが畑に戻したり、籠を別の場所に移動させたり、そのたびに大うけする三年生たち。最後には和解した二人が、隣村の祭りにスイカを売りに出かけていく。

観劇後は、雙葉小学校石川先生の司会で感想や質問のふりかえり。三年生はまもなく舞台発表を控えて、劇の練習をしているとのこと。

【子どもたちの感想】

- 面白くて表情が豊かですごかった。
- 身体が横を向いていても、顔が前で声が良く飛んでいた。
- 泥棒とかの音を出さないようにする所が表現できていて良かった。
- 舞台の動きとピアノが合っていた。
- 『おもしろどんどん』の題名通りに面白かった。

【子どもたちの質問】

- どうやったら緊張がなくなりますか？→笑顔が見えると安心する。
- どうしたら大きな声が出せますか？→普段の練習と起きてから五時間かけて声が出せるよう準備をする。

- 小さい声でもお客様に届けるには？→難しいけれどオペラを参考に声を響かせるようにする。
- 練習で努力しているところは？→説明的なセリフを使わないように気をつけている。
- 演技をする時に気をつけていることは？→驚く場面など本当に驚くようにしている。

感想や質問にはほとんど全員の手が上がり、内容が的確でかつ可愛らしかった。

【参加者協議会】

ここでも石川先生の名采配で、全員の感想を聞くことができた。

- 子どもたちの反応が素晴らしく、演劇教室の良さを再確認した。
- 昨日学習発表会があったのだが、鑑賞の仕方や演出の仕方など本日の会が参考になった。
- 演者さんに寄りそう観劇の姿勢に、子どもたちの優しい気持ちが表れていて素敵だった。
- 子どもたちの声を受け止めて、舞台を創り上げる役者さんが素晴らしかった。
- 始まる前に舞台袖で雙葉小の小道具を担当される先生が、食い入るように舞台装置を見て質問されていて感激した。舞台人と学校関係者の交流が進むといいと感じた。
- 素直に心が動く時期に、たくさん良いものと出会う大切さを感じた。

四谷に現れた三つの日本一、日本一のスイカ作りの権兵衛お婆さん、日本一エライ泥棒、そして日本一素敵な観客の雙葉小三年生の子どもたちだった。

